



第6回 Minecraftカップ

地域事例報告書

Minecraftカップ[®]運営委員会

独自にワークショップを実施し、マイクラカップへの参加を後押し

取り組みの概要



さっぽろマイクラフトワークショップ

開催日：7月13日(土)、14日(日)
場所：北海道新聞社本社1F DO-BOX
対象：小学1年生～高校3年生
主催：札幌市
共催：一般社団法人さっぽろ産業振興財団
株式会社北海道新聞社

取り組みの経緯

札幌市はMinecraftカップの自治体パートナーに参画し2年目。教育版マイクラフトの認知拡大と参加促進をめざし、プログラミング学習やデジタルものづくりに加えて、毎年独自にワークショップを開催しています。今年度は札幌市の公共交通をテーマにしたイベントを開催しました。

内容と成果・効果

ワークショップは札幌市の公共交通機関や市営地下鉄のバリアフリー化について学べる内容です。

マイクロソフト公認教育イノベーター（MIEE）の講義とマイクラフトを用いたワークショップで、未来の札幌の移動手段を考えました。札幌市の歴史や地下鉄の構造、バリアフリー化の重要性を知り、マイクラフトカップに挑戦する子どもたちの声も多くなりました。

自治体が独自にワークショップを開催する動きは、子どもたちがマイクラを通して地域への関心を深めるいい機会です。



自治体パートナー 東京都

政策企画局計画調整部プロジェクト推進課

教育版マイクラフトで未来の東京を描こう！ 作品を見てもらう機会づくり

取り組みの概要



取り組みの詳細

東京都は、Minecraftカップの受賞作品を広く多くの人に知ってもらう展示やイベントを副賞としています。

第5回の表彰式と入賞作品の展示は、世界共通の都市課題の解決に向けたイノベーションを創出する国際イベント「SusHi Tech Tokyo 2024」で行われました。

受賞作品をVR体験できるようにし、多くの大人や子どもたちに体験してもらいました。実際のマイクラワールドへ自分が入っていく体験が新鮮だったようで、驚きの声があがっていました。

「SusHi Tech Tokyo 2024」での表彰式とVR展示

開催日 : 2024年4月28日-29日
場所 : 日本科学未来館
対象 : 小・中学生
定員 : 20名
料金 : 無料



教育版マイクラフトを使って、不登校支援に挑戦する

取り組みの概要



メタバースを活用した過ごし方 (メタバースSaSaLAND)

- 場所 : SaSaLAND (オンライン含む)
- 日時 : SaSaLAND 月曜～金曜 午前9時～午後3時
オンライン 午前中2～3時間程度
- 対象 : 長野市在住の学校へ行きにくくなっていたり、行けない状態が続いている小1～中学2年生

取り組みの詳細

長野市が不登校支援として今年4月に開設した教育支援センター「SaSaLAND」で、教育版マイクラフトを活用した居場所づくり、活動を行いました。
信州大学と連携し、ビデオ通話アプリでコミュニケーションを取りながら、一緒に遊び、建物を作り、プログラミング体験を行います。
開設前には、スタッフが教育版マイクラの基本操作や活用の仕方を学ぶ研修も行いました。

成果と効果

普段はオンラインのみでの参加の子どもが「SaSaLAND」に来て、一緒に活動する成果が見られました。
マイクラフトカップに応募することもできました。

今後の展望

「SaSaLAND」に通うことができる子ども以外の支援も検討中です。

メタバースを活用した過ごし方 (メタバースSaSaLAND) について

どんなところ？

マイクラフト教育版で作成したメタバース（インターネット上の仮想空間）にある居場所です。
不登校や不登校傾向の児童生徒が自宅等から居ながらオンラインで通い、過ごすことができます。



何をやるの？

マイクラフト教育版で、みんなで一緒に遊ぶ、建物を作る、プログラミングをやってみるといった活動を予定しています。また、ビデオ通話アプリを使って音声でコミュニケーションを取りながら活動します。利用できる日時は、平日の月曜日から金曜日の午前中のうち2時間から3時間で、4月の中旬頃の開始を予定しています。自宅や教育支援センター、フリースクール等での利用を想定しております。



他者との交流



SaSaLANDを再現



様々な活動

利用対象者は？

長野市在住の学校へ行きにくくなっていたり、行けない状態が続いている現小学1年生～中学2年生 ※SaSaLANDと同じ、令和6年度以降は年度途中から受け入れ



教育版マイクラを使って、不登校支援に挑戦する

取り組みの概要



教育支援センターSaSaLAND (メタバースSaSaLAND)

- 場所 : SaSaLAND (オンライン含む)
- 日時 : SaSaLAND 月曜～金曜 9時～15時
オンライン 午前中2～3時間程度
- 対象 : 長野市在住の学校へ行きにくくなっていたり、
行けない状態が続いている小1～中学2年生

取り組みの詳細

長野市が不登校支援として今年4月に開設した教育支援センター「SaSaLAND」で、教育版マイクラを活用した居場所づくり、活動を行いました。

各地区にある教育支援センターとは異なり、多様な選択肢を持ち合わせた居場所として、ゲームをすることも許可しています。教育版マイクラの活用は信州大学と連携し、ビデオ通話アプリでコミュニケーションを取りながら、毎日10人くらいが一緒に遊び、建物を作り、プログラミング体験を行います。

開設前には、スタッフが教育版マイクラの基本操作や活用の仕方を学ぶ研修も行いました。

成果と効果

オンラインのみでの参加の子どもが「SaSaLAND」に來ることができ、一緒に活動する成果が見られました。また Minecraftカップの地区大会にて人前で発表することもできました。子どもたちの意欲が高まる姿勢が見られます。

今後の展望

「SaSaLAND」に通うことができる子ども以外の支援も検討中です。

メタバースを活用した過ごし方(メタバースSaSaLAND)について

どんなところ?

マイクラ教育版で作成したメタバース(インターネット上の仮想空間)にある居場所です。不登校や不登校傾向の児童生徒が自宅等に居ながらオンラインで通い、過ごすことができます。



何をやるの?

マイクラ教育版で、みんなで一緒に遊ぶ、建物を作る、プログラミングをやってみるといった活動を予定しています。また、ビデオ通話アプリを使って音声でコミュニケーションを取りながら活動します。利用できる日時は、平日の月曜日から金曜日の午前中のうち2時間から3時間で、4月の中旬頃の開始を予定しています。自宅や教育支援センター、フリースクール等での利用を想定しております。



他者との交流



SaSaLANDを再現



様々な活動

利用対象者は?

長野市在住の学校へ行きにくくなっていたり、行けない状態が続いていたりする現小学1年生～中学2年生 ※SaSaLANDと同じ、令和6年度以降は年度途中から受け入れ



教育版マインクラフトを使って、子どもたちのシビックプライドを醸成する

取り組みの概要



マインクラフトで 台城公園の遊具をつくってみよう

開催日 : 2024年8月11日(日)
 場所 : えみりあ
 対象 : 小・中学生
 定員 : 20名
 料金 : 無料

取り組みの経緯

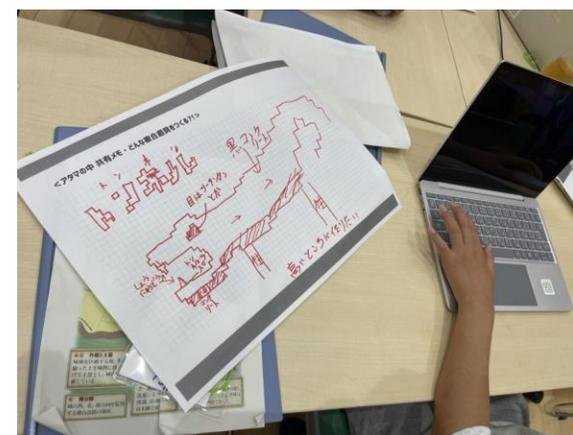
台城公園の遊具更新を計画する町が、子どもたちと遊具や公園利用のアイデアを考えてもらいたいと企画しました。ひとりでも多くの子供たちに考える機会をつくりたいと、教育版に加えてSwitch版の世界も制作しました。

内容と成果・効果

公園の案内人グループのみなさんから歴史や文化を教わり、フィールドワークをして設計図を書き、みんながワクワクできる公園をワールドで作りました。アンケートはほぼ全員が「楽しかった」と回答しました。近隣の伊那市伊那まちBASEのメンバーがサポートに入りました。

今後の展望

作成したアイデアを3Dプリンターで出力し、町文化祭で展示します。子どもたちのアイデアが現実になることをめざします。



自治体パートナー 群馬県

群馬県教育委員会、前橋市教育委員会

複数自治体が連携し、教育版マイクラを活用してまちの歴史を学ぶ

取り組みの概要

2024年7月14日(日)
マイクラで
前橋城を復元しよう!
@群馬県庁

開催日時	2024年7月14日(日) 10:30~16:00	申込締切	2024年7月14日(日) ※先着順のため、早めにご参加ください。
対象	群馬県内在住の小中学生 先着30名	参加料	無料
会場	群馬県庁32階 Netsugen セミナースペース 群馬県庁本館17F1-1	申込方法	下のQRコードより お申し込みください。
持ち物	特になし。(持ち物の場合は500円未満) 教材等は貸し出しいたします。 PCなどを持ち込む必要はありません。		

字がプログラミングスキルで活用されている「教育版マイクラ」を使って、
かつて前橋にあり、現在は「跡地」に活用されている歴史を復元しよう！
開催場所は先着順です。お申し込みいただいた方から先着順で参加者を募集します。
申し込みから参加までご参加いただけるまでご参加いただけます。ぜひご参加ください！
併せてMinecraft Cup 全国大会の開催も行われます。ご参加の方は、ぜひお申し込みください。

問合せ先 Code-Dojo 前橋 (代表: 藤口)
maebashi.jp@codendojo.com

主催: Code-Dojo 前橋 協力: Minecraft Cup 全国大会運営委員会
協賛: 東日本電信電話株式会社 (NTT 東日本)
後援: 群馬県 群馬県教育委員会 前橋市 前橋市教育委員会

マイクラで前橋城を復元しよう！

- 開催日 : 7月14日(日)
8月24日(土)
- 場所 : 群馬県庁 32階 NETSUGEN
- 対象 : 前橋市内在住の小中学生
先着30名
- 主催 : CoderDojo前橋
- 後援 : 群馬県教育委員会
前橋市教育委員会

内容と成果・効果

会場は実際に前橋城の天守閣群馬県庁。午前中に講演と城跡探訪、午後にマイクラで天守閣を再現しました。プログラミング体験だけでなく、歴史学習も子どもたちの学びになりました。

1回開催の予定でしたが、人気のため8月に追加開催しました。前橋市教育委員会や文化財保護課と連携し、他の自治体にも展開していきたい事例です。



取り組みの経緯

昨年度のマイクラカップに群馬県からの応募ゼロを受け、地元の教員/CoderDojo前橋が群馬県教育委員会に働きかけ、自治体パートナーに参画しました。今はなき前橋城をて知ってほしいとイベントを実施しました。



CoderDojo 前橋

Minecraftカップの応募をめざした作品作りの環境づくり

取り組みの概要

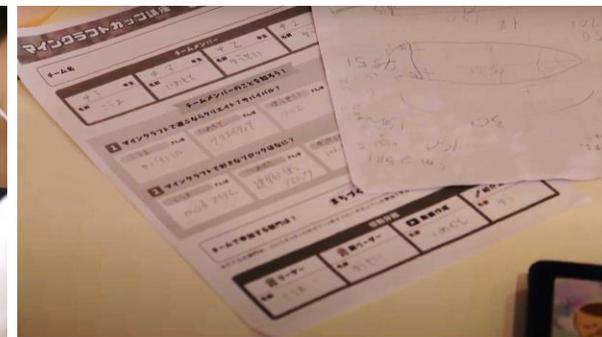


第6回Minecraftカップ 参加者短期集中講座

開催日 : 6月16日(日)~8月26日(日)全10回
 場所 : ロボテラス
 対象 : 藤沢市内在住・在学の小・中・高校生
 30名
 主催 : 藤沢市
 公益財団法人湘南産業振興財団
 運営 : SMILE TECH+

内容と成果・効果

会場はデジタルツールが自由に体験できるロボテラス。定員20名の予定が予想を大幅にこえる応募があり、定員を増やして開催しました。マイクラフトの技術だけでなく、テーマの調査・応募用文章作成・スピーチ練習・動画編集なども全10回に盛り込み、藤沢市から6チームが応募しました。



取り組みの経緯

藤沢市は最先端技術を活用したスマートシティを推進し、次世代を担う子どもたち向けにプログラミング事業を実施し、デジタル技術の活用を応援しています。この一環としてマイクラフトカップに参加する藤沢市の子どもたちの応援企画を実施しました。



講座の様子を取材しました！
 Minecraftカップ
 YouTubeチャンネル
 「神奈川県藤沢市の取り組み」

子どもたちの学習に教育版マイクラフトを使う、教育支援センターの挑戦

取り組みの概要



写真：中日新聞

ハートフレンドにつしん (日進市教育支援センター)

場所 : ハートフレンドにつしん
 日時 : 月曜～金曜 9時から15時まで
 対象 : 学校になじめず、学校に行けない小中学生

取り組みの経緯

日進市では、「誰一人取り残さない教育」を進めるため、子どもたちの学校での居場所づくりや学校に行くことができない・家から出ることができない子どもたちの居場所づくりに取り組んでいます。
 教育支援センターの先生が、学習時間に取り組める学習コンテンツとして教育版マイクラフトに注目し、センター長の先生と学校教育課が素早く導入を決めて、子どもたちがMinecraftカップにチャレンジしました。

内容と成果・効果

一日の学習時間2時間の内1時間、自由時間に2時間、取り組みたい子どもたちが自由に作品を作っています。子どもたちにマイクラフトはとても人気で、学習時間に取り組みたいことが見つからない子どもたちが意欲的に取り組んでいます。何をしたらいいかわからない子どもにとって「やることがある」という安心感が生まれ、児童生徒同士が教え合っコミュニケーションが活性化しています。

今後の展望

こうした取り組みを広げようと、ふるさと納税の仕組みで支援を募っています。来年度以降の教育版マイクラフトのアカウント費用に贈る目的でもありますが、他の自治体でも取り組んでもらえるよう事例を知ってもらいたい思いが込められています。



学校に行けない・行かない子どもたちに教室以外の「居場所」を提供したい！

カテゴリ：子ども・教育

寄付金額 **1,002,000円**

100.2%

目標金額：1,000,000円

達成率	支援人数	終了まで
100.2%	22人	58日 / 91日

愛知県日進市(あいちけんにつしんし)

お気に入り

ふるさと納税で応援

SDGsやSTEAM教育、学校教育に教育版マイクラフトを活用する

取り組みの概要



かさいSDGsフェスタ2024

電力ワークショップ
たても部門の万博ワールド作品作り

- 開催日 : 2024年7月27日(土)
- 場所 : アステシアかさい 交流プラザ
- 対象 : 小学生
- 定員 : ワークショップ 25名
体験会 100名 (各回25名)
- 費用 : 無料

取り組みの経緯

加西市が力を入れているSDGs体験ができる小学生向けイベント「かさいSDGsフェスタ」。ひとつのブースとして教育版マイクラフトを使用したワークショップと体験会を開催しました。情報課、政策課が連携し、教育委員会を巻き込みました。

内容と成果・効果

午前には電力ワークショップを開催し、小学生がグループで発電やエネルギーについて学び、電気を生み出す公園を考えてワールドを作成。午後のオープニングステージで発表し、午後は親子参加の体験会を開催しました。

今後の展望

加西市は学校教育の中にマイクラフトを取り入れていきたいと、情報課と教育委員会が連携し、SETAM教育としてプログラミングや創造力の育成に活用を進めていきます。



11/23加西SETAMフェスで
廃校ワークショップを開催！



自治体パートナー 山口県下関市

総合政策部企画課スマートシティ推進室

スマートシティ実現に向けて、教育版マイクラを使って人材育成

取り組みの概要



**教育版
マイクラ体験会**

パソコンを使ったプログラミングや作品づくりを体験しませんか？
初心者も大歓迎！みんながデジタルなものを楽しもう！

開催日 **7月15日** ①10:00~10:50 ②11:00~11:50
③13:00~13:50 ④14:00~14:50

会場 ゆめシティ 3階 ムラサキスポーツ前広場

対象 小・中学生 定員 各回20名

料金 無料 申込 7月3日(水)締切 ※応募多数の場合は抽選

問合せ：下関市総合政策部企画課スマートシティ推進室
TEL 083-231-1911
主催：下関市 協力：しものせきマイクラ同好会 運営：Minecraft杯

教育版マイクラ体験会

たても部門の万博ワールド作品作り

開催日：2024年7月15日(日)
場所：ゆめシティ 3階
ムラサキスポーツ前広場
対象：小・中学生
定員：100名(各回20名)
費用：無料

運営協力：しものせきマイクラ同好会

取り組みの経緯

下関市はスマートシティ実現を目指し、教育版マイクラ体験会を夏休みに「ゆめシティ」で開催。企画課が自ら会場を交渉し、地域の子どもたちにデジタル教育の機会を提供しました。

内容と成果・効果

今年度のテーマ「well-beingをデザインしよう」に沿って、自分が楽しいこと、好きなことを考えて、万博のパビリオンを作りました。

予想以上の応募で回を増やし、100名の小中学生が参加。しものせきマイクラ同好会がサポートし、アンケートではほぼ全員が「楽しかった」と回答。7割がMinecraftカップに「参加したい」と答えました。

今後の展望

大学や地域拠点と連携して体験会の開催を継続しており、来年度も地域課題を考えるオリジナルワークショップの開催を検討しています。



教育版マイクラフトを使ってデジタル人材育成を加速させる

取り組みの概要



夏休みMinecraft体験会

たてもの部門の万博ワールド作品作り

開催日 : 2024年7月28日(日)
場所 : 宇佐市役所 多目的ホール
対象 : 高校生以下
定員 : 120名 (各回30名)
費用 : 無料

取り組みの経緯

宇佐市は親子世代のデジタル人材育成をめざし、楽しみながら学べるツールとして教育版マイクラフトに注目し、体験会を開催しました。

長期的な取り組みしていこうと、市内の協力者を公募する工夫も行い、担当した総合政策課以外の職員やプログラミング教室の関係者もサポートに入りました。

内容と成果・効果

今年度のテーマ「well-beingをデザインしよう」に沿って、自分が楽しいこと、好きなことを考えて、万博のパビリオンを作りました。

体験会には保護者の参加が多く、子どもたちが楽しみながら集中して作った作品に驚きと関心の声があがりました。子どもたちからもっと取り組みたい、自由に作れて楽しかったと前向きな感想が多く、大成功でした。

今後の展望

教育版マイクラフトを活用して、地域のことに関心を持ち学ぶ機会をつくろう、学校教育の中で取り組めるようにしようと、総合政策課が中心となって教育委員会や学校へのアプローチも行っています。



教育版マイクラフトに取り組める環境を地域や学校に広げる

取り組みの概要



デジタルものづくりのおもしろさを体験しよう！
教育版マイクラフトワークショップ 8.18 (日)

学校の授業でも取り入れが「教育版マイクラフト」を使って、マイクラフト上の環境をリバージョンします。
チームアイデアで、ワールドの中で遊べます。保護者が子どもがマイクラフトの体験を促します！

開催概要
日 時：2024年8月18日 (日) 13:00~16:00 (開場 12:30)
会 場：基山町民会館 会議室 (基山町大字宮原666番地)
対 象：小学生 定員25名 ※応募多数の場合は抽選
参加費：無料
持ち物：筆記用具、飲み物 ※PCは会場に備えています
備 考：東原保子 (一般社団法人HATTO/Minecraftカブ)
URL: <https://minecraftcup.jp/>

申込み
QRコードより必要事項を入力ください。
2024年8月10日 (木) 締切
※当会費は8月10日 (木) までにお願いします。
※主催者都合によるキャンセルは、主催者責任で実施されません。キャンセル料は発生しません。
※主催者都合によるキャンセルは、主催者責任で実施されません。キャンセル料は発生しません。
URL: <https://minecraftcup.jp/>

問合せ: hatto.education@gmail.com 基山町は教育版Minecraftカブの活動拠点です。
主 催：一般社団法人HATTO 後 援：基山町教育委員会
協 力：オフィスきゃぶ / Minecraftカブ

教育版マイクラフトワークショップ

廃校リノベーションワークショップ

- 開催日 : 2024年8月18日(日)
- 場所 : 基山町民会館
- 対象 : 小学生
- 定員 : 25名
- 費用 : 無料
- 主催 : 一般社団法人HATTO
- 後援 : 基山町教育委員会
- 協力 : オフィスきゃぶ

取り組みの経緯

これまでMinecraftカップに応募したことのある子どもの保護者が中心となって働きかけ、学びへの活用に前向きな教育委員会が自治体パートナーに参画しました。
地域でマイクラを活用した探究的な学びの場を作る団体HATTO主催でワークショップ開催が実現しました。

内容と成果・効果

廃校とは何か、社会課題背景、活用事例を学び、5人グループでアイデアの作りワールドを作りました。
町長や教育長、学校の先生も見学に来て子どもたちのアイデアや取り組む姿に関心していました。

保護者にも教育版マイクラフトに触ってもらう体験ブースを設けて理解を促すことができました。

今後の展望

教育版マイクラフトを学校教育の中で活用することを検討しています。保護者が中心となって教育版マイクラフトに取り組める居場所づくりの検討も始まっています。



子どもが、ハッ!とする教育を。

HATTO